

議 事 録

(以下、敬称略)

会議名	船橋在宅医療ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会（令和4年度第1回）		
日時	令和4年5月12日（木）18：30～：20：00	場所	オンラインにて会議実施
出席者	進行	石原茂樹・江尻和貴	書記 事務局：松川
	（委員 50 音順） 飯嶋和斗、飯島美智子、池田喜久子、石神敏明、石原茂樹、五日市奈緒美、伊藤秀一、梅津博道、江尻和貴、大塚由紀、小倉雅治、加藤寿美、川上祥弘、久保田恵子、斉藤千尋、齋藤俊夫、佐々木啓人、佐藤健一、塩原貴子、島田晴美、下田久美、杉山宏之、泉水泰良、高木秀明、田代晴基、谷博司、遠田なほみ、遠山良成、鳥居和雄、鳥海正明、永井葉子、林茂樹、半沢美由紀、福島節子、藤田敦子、松岡かおり、松川基宏、松本淳、宮前篤史、山崎繁夫、吉田幸一郎、吉田友則、御代川英己、高橋恵子、鳥居和雄 事務局：斎藤課長、窪田課長補佐、佐野係長、玉川係長、松川、佐々木（地域包括ケア推進課）		
欠席	上記氏名で口枠のない者		
テーマ	内 容		
1)報告・検討議題 (20分)	1. 報告・検討事項 ①新たなメンバーの紹介 藤田敦子氏（NPO 法人ピュア） 大塚由紀氏（西部地域包括支援センター） 遠山 良成（船橋歯科医師会） 谷 博司（船橋歯科医師会） ②地域リハニュース石川誠氏追悼号について ・完成したのでひまわり各団体にお届けしている。 ③石川誠氏追悼イベントについて（輝生会より） ・5月29日（日）に追悼イベントを予定している。参加申込をしていただいた方はよろしく お願いします。 ④地域リハビリテーション拠点事業報告 ・第23回船橋市地域リハ研究大会（3月14日）について ・第17回摂食栄養サポート勉強会（2月17日）について ⑤今年度の当委員会活動予定について ⑥言語聴覚士の参加について ・市内でも在宅に関わる言語聴覚士の在職数が少ない状況があり、当委員会のメンバーに参加 依頼をかけたいと思うがいかが。ちなみに作業療法士については千葉県作業療法士会会長に は話をしている。 （意見）いると思っていた。 → 声掛けすることとする。推薦者がいれば事務局まで連絡してほしい。 ⑦現委員の自己紹介 ⑧ひまわり他の委員会の活動予定について ・人材育成委員会：スタートアップ研修、スキルアップ研修を今年度開催予定 ・安心の確保委員：秋頃に市民公開講座を予定 ・認知症の人にやさしいまちづくり委員会：12月第1土曜日にシンポジウムを開催予定		
2)各団体からの報告 (10分)	●船橋市医師会— ・ ●船橋歯科医師会— ・年度内2回の摂食栄養サポート勉強会の開催 ・10月末～11月内に口腔保健支援事業として多職種向け口腔ケア実習を開催予定		

- ・秋頃の日曜日の午後に対面研修を開催予定
- 船橋薬剤師会―
 - ・コロナ陽性者自宅療養者への対応 薬剤配達、配送等
 - ・コロナワクチン集団接種 ワクチン希釈・充填の協力
 - ・定例会議
 - ・オンライン研修会（月1回） 等
- 千葉県理学療法士会―
 - ・第27回千葉県理学療法士学会の開催（3月6日）。オンライン形式で実施した。
 - ・千葉県理学療法士会新人セミナー5月15日（日）開催予定。（オンライン形式）
 - ・ダイハツ千葉販売株式会社と協働による健康安全運転講座の開催予定（船橋市後援）
（船橋店：5月25日（水）11時～12時30分）
 - ・千葉県理学療法士会代議員総会6月26日（日）開催予定。（オンライン形式）
- 船橋市栄養士会―
 - ・食育展：6月8日～6月16日まで開催予定（パネル展示）
 - ・会報作成予定
- 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会―
 - ・6月3日（金）令和4年度総会開催予定。
- ふなばし市訪問看護事業者連絡会
 - ・近日総会開催予定あり
- 船橋市訪問介護事業者連絡会
 - ・
- 船橋市介護支援専門員協議会―
 - ・総会開催を書面形式で予定
- 千葉県在宅サービス事業者協会―
 - ・
- 船橋市デイサービス連絡会
 - ・
- 船橋市老人福祉施設協議会―
 - ・今年度より正式に林会長（ワールドナーシングホーム）が就任
 - ・総会は書面開催
 - ・新しい特養が新設（うぐいす苑の近く）
- 船橋市老人保健施設協会―
 - ・とくになし
- 船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会―
 - ・2/28（月）、各病院の代表者の会議を開催。
- 船橋市訪問リハビリテーション連絡会―
 - ・船橋市訪問リハビリテーション連絡会事例検討会の開催。
（5月20日（金）18時30分～20時 Web方式）
 - ・交流会、研修会を2カ月おきに開催予定（横のつながりと質の向上を図る）
- 船橋市通所リハビリテーション連絡会―
 - ・6月6日定例会開催予定
- 船橋市障害福祉施設連絡協議会―
 - ・とくになし
- 船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと―

	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日在宅医ネット研修会（Web） 乳がんの専門医による講演 ●リハビリテーション病院ー ・とくになし ●西部地域包括支援センター ・とくになし ●千葉・在宅ネットワークピュア ・オレンジカフェ（御滝不動尊）を月1回で開催していたが、今後場所を公民館に変更する。人数制限があり、地域限定で開催する。各回にミニ講演あり、5月は地域包括支援センター、6月は市リハビリセンターの泉水氏より講演あり、7月は栄養の講演あり。
<p>2) 班による検討について (50分)</p>	<p>2. 各班作業</p> <p>(1) 班名：1班 「みんなで咲かせよう地域包括ケア班」 2班 「障害福祉を知って船橋を明るくする班」</p> <p>(2) 班メンバー：</p> <p>1班：石原、松岡、田代、永井、加藤、下田、塩原、半沢、石神、吉田（友）、鳥居、大塚、玉川、松川、佐々木</p> <p>2班：吉田（幸）、池田、齋藤（俊）、飯島、江尻、宮前、高木、伊藤、小倉、福島、馬場、斉藤（千）、石川、松本（淳）、遠山、藤田</p> <p>(3) 班の作業</p> <p>○前回議事録を共有</p> <p>【班ごとにブレイクアウトルームで分かれセッション開始】</p> <p>○1班 今年度検討する方法、及びテーマ、タイトルを決定する。</p> <p>○2班 今後の活動内容について検討、整理する。</p>
<p>発表 (10分)</p>	<p>(4) 各班の検討内容の発表</p> <p>●第1班「みんなで咲かせよう地域包括ケア班」</p> <p>班の作業内容が以下の2つに決定した。</p> <p>①地域のリハビリテーションに関するインフォーマル資源の情報収集と整理、皆で共有できる発信ツールの作成</p> <p>②摂食嚥下等に関する食形態や栄養管理、口腔ケア、機能維持等に関する情報収集と整理、皆で共有できる発信ツールの作成</p> <p>※なお、情報発信ツールについては、地域リハニュースを活用することを想定した。</p> <p>作業チームメンバー) ※◎はチームリーダー</p> <p>①摂食嚥下チーム : ◎田代、永井、加藤、下田、塩原、松川、※ST</p> <p>②インフォーマルチーム：◎石原、松岡、鳥居、吉田、半沢、石神、大塚、佐々木</p> <hr/> <p>○第1班議事録</p> <p>アンケートの集計結果について（石原先生）</p> <p>回答より4つの項目に分類した。</p> <p>A. 地域の資源を知る その活用法の検討</p> <p>B. 嚥下を中心とした栄養課題への取り組み、歯科治療のすすめ</p> <p>C. 生活支援の視点からのリハビリ普及となるものの作成</p> <p>D. 予防をキーワードとした啓発活動</p>

(成果物・作業のイメージについて)

- ①インフォーマル資源について： 岩国市の生活支援マップ
船橋市宅配ガイドマップ

収集する情報の分類の整理などからの作業を行うことも必要かと思う。

- ②摂食嚥下等について (田代先生)

嚥下調整食・介護食の支援サイト「食べるを支える」の紹介 (菊谷先生作成)

- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会から食形態の定義等が提示されている。
- ・「とろみ」も細かい分類があるが、分かりやすく写真等も用いて食形態を共有できるツールを作成できると入退院時にも活用できると思う。

- 4つの分類を「摂食・嚥下・栄養管理に関する介護予防啓発・連携ツールの作成」と「地域リハ・生活リハビリにつながるインフォーマル資源情報の整理、啓発ツールの作成」に分けて考えてみた。

班としてどちらの作業を選択していくか検討したい。

(意見)

鳥居) 船橋市地域リハビリテーション支援拠点事業として石原先生が作成していただいている地域リハニュースを活用し、2P ほど割いて、摂食嚥下関係の情報とインフォーマル資源やサイトなどの情報の双方を段階的に掲載していったらどうか。地域リハニュースをみれば情報を知れる、理解を深められるような成果物になるといいのではないかな。2つ同時に進められるのではないかな。

下田) 摂食嚥下関係の情報を扱いたいと思っている。学会から発信しているツールをそのまま利用してもいいかと思うが、地域リハニュースを活用することでプラスアルファのものを入れられるのでよりいいと思う。

吉田) 在宅の現場では嚥下関係の知識は薄いと感ずるので、目に見えるツールがあると分かりやすいと思う。また、地域の社会資源として「リハビリ」の言葉から発想されるのが、PTOTSTの専門職が関わるものというイメージが強い。生活リハビリの視点でインフォーマル資源や地域ケア会議の情報を収集できるといいと思っている。

半沢) どちらもいいと思う。アンケートにはインフォーマル情報をと書かせてもらったが、市民にダイレクトに発信するというよりは、自分達が知らない現状がある。最終的に市民に発信できると良いが、その前段として病院や介護事業所等のスタッフに役立つ情報として地域リハニュースなどで活用できると良いと思う。

永井) インフォーマル情報については、現在ある情報を利用したりするのもよいし、現状いかに利用されているかを確認しながら現情報を再提示する形でも良いかとは思う。また、自身としては薬剤師なので、薬の服用に関連して嚥下関連の情報共有の必要性を感じている。

加藤) 先日、訪問の管理栄養士がヘルシーフードという業者とタグを組み、在宅で訪問時に本人や家族に説明する際に使用するチラシを作成しているという情報があった。また、QRコードで読み込み嚥下食やとろみ食が具体的に分かる映像を見れ、無料でダウンロードもできるようにしていた。皆の専門性を合わせて地域で役立つものが出来ればいいと思う。どちらでもいい。

大塚) 前に所属していた地域保健課では、公園でできる体操を冊子にして配布している。既存のものを利用しながらさらに使いやすくなるようなもの、サイトの一覧表のようなものを作成してみてはどうかと思う。

石神) 田代先生のご提示いただいた食形態のツールも分かりやすくあったらいいなと思った。インフォーマルの資源がどこにあるかも知らないので皆で作成し自身も成長できたらいいなと感じる。どちらも良いと思う。

松岡) 両方やってもいいのではないか。摂食嚥下については、田代先生からの提示されたものも良いし、脳卒中連携で作成している栄養シートもあるので参考にしよう。インフォーマルに関するものについては、当初嚥下食が置いてある食堂の資源の話も出ていたと思う。一般的なリソースを収集してもどうかと思う。またとろみがついたお酒もあり、嚥下障害の方に飲んでいただいているということもある。マイナーだけど知っておくと役立つ情報も集められるといいのではないかな。まずは、皆が知っているインフォーマル情報やその情報源などを整理し、そこから住民からの情報など広げて収集できていけるといいと思う。

佐々木) 皆さまが把握しているインフォーマル資源の情報は多いと思うが、そこから知らない情報もたくさんあると思うので共有していけたらと思う。

石原) 何で情報を発信するのが大事だと思っている。地域リハニュースは今回の追悼号で第4号になる。最初の号では団体の紹介、次の号では個人の紹介など行っている。また、リハセンターに赴任してからリハセンター便りを発刊、8ページの冊子を作っている。クリニック事業、訪問看護事業、地域リハビリ拠点事業、リハビリ(介護予防)事業などの4つの部門に分けて作成している。同様に地域リハニュースをベースに、ページを分担して、それぞれのテーマに分けて掲載していくのはどうか。それぞれ得意分野を活かせるのではないかなと思う。

田代) 今あるもの、「地域リハニュース」への掲載するのはいいと思う。QRコードを付けて読み込めるようにするなどICTの活用や紙媒体を併用するなど高齢者が使いやすい、読みやすいもよう配慮して工夫できるといい。また、歯科として、口腔ケアや摂食嚥下のワンポイント、そして、在宅で本人、家族と話していると栄養面で炭水化物と水分が多くタンパク質が少ない状況もあるので、そのあたりも適切な栄養の情報などを発信していけるといいと思う。

※ STが参加した際には摂食嚥下チームへ参加してもらう。

●第2班 「障害福祉を知って船橋を明るくする班」 16名

メンバー：吉田(幸)、池田、齋藤(俊)、飯嶋、江尻、泉水、宮前、伊藤、小倉、
齋藤(千)、松本(淳)、藤田、遠山、佐々木、五日市、御代川

「障害福祉」と言っても領域が広く多岐にわたるため、もう少し理解を深めていくために学びの機会を設けていく。

<今後の取り組み>

★訪問看護で携わる中での課題があるか 情報提供を頂く 担当：五日市

★ふらっと船橋からみえる課題について情報提供を頂く

★千葉リハから見える課題(船橋市へサービス移行をする際など)について情報を頂く

今後勉強会や研修を行う際にご協力頂けるか打診 担当：藤田

○第2班議事録

今後の活動内容について検討、整理する。

(江尻) 2月人材育成での研修にて障害児と高齢者との支援に差があり、問題が起こってから関わりを持つことが多い。事前にかかわりを持てる勉強会を開催するのはどうか。

地区勉強会は多職種で集まるため、高齢者と障害福祉に関連するテーマと扱うのはどうか。

(SW 斎藤) 障害分野でのリハのかかわりについて、SW 以外でかかわる機会は少ないと感じる。事例を通してイメージしやすいものを扱うのはどうか。

(Dr 吉田) 前回の勉強会では膨大な内容であり理解が難しいと感じた。障害児へのアプローチは地区勉強会等で事例をあげて取り組めるとよいか。事例に関して、現在の問題点はなにか知る必要がある。

(Dr 池田) 事例を扱うことはよいと思う。障害福祉サービスの理解度に差がある。サービスを利用していない方もいる。ふらっと船橋さんに情報を得ている。他制度との組み合わせが難しい。どのような生活に結び付けるか。

(CM 小倉) 高齢者への対応が中心。中には家族に障害を持たれている方もいる。家族支援の観点から事例を通して扱うことは興味がある。

(伊藤) 障害者の方へ稀にかかわることがあるが、具体的な支援は理解できていない。事例を通して学ぶとわかりやすいと感じる。

(斎藤) 新たな施設が開設されているが、どのようなサービスが提供されているはわからない。障害としても疾病によってサービスも異なる。

(佐々木) リハビリについて考えて頂ける機会はありがたい。班のテーマとして広い。小児のリハを受けられる事業所が少ない。受け皿の少ない中で、臨床経験がすくない。どのような場所に相談していいか情報が少ない。保護者方が感じている課題も複数あり。

船橋がどのようなところが問題と感じているか、問題点を抽出して研修会を行ってもよいか。制度についても学ぶ必要がある。

(五日市) 日常生活をおくる上での問題点はなにか知る必要がある。自然災害時の対応など。

(飯嶋) 患者さまから情報を得る機会が多い。テーマが広い。問題点をあげることを優先に行い、ポイントを絞った講義を行う。事例は作成が難しいか。

(藤田) 障害児者 知的・身体・精神・・・それぞれ特性がある。千葉リハで高次脳機能センターを担っている。医療的ケア時について話し合う場を設けてみるとよいか。

高次脳機能障害とは何か？みなさんの理解度は？

→リハ関係は関わることもある

(飯嶋) 稀に関わるが、ケアでの面では理解度に乖離があるか？

(斎藤) 把握していない。

(飯嶋) 小児歯科の先生が中心に関わっている

(藤田) 事例をあげて深めていくことがよいか。どうゆうことを注意して関わるのがよいかと話し合えるとよいか。

(江尻) 班のメンバーで課題をあげることがよいか

(藤田) 千葉リハに課題をうかがう

(遠山) 勉強していきたい

(松本) 事例を用いることで理解しやすい。高齢者以外の相談もあるが割合は少ない。障害といっても範囲が広い。どこのだれに相談してよいかわからない。制度を含めた理解を各分野の勉強できる機会を定期的にもつことがよいか。ふらっと船橋やサークルさんと連携を図る。

(御代川) 各々連想する方に差があると感じた。船橋の政策から読み解くとよいか。対象者の全体像を把握する。

情報収集を行う

当事者の課題はなにか

サービス提供者側からの課題はなにか

	<p>(Dr 斎藤) 野田聖子さんの講義を聞く機会があった。 基調講演から船橋の (藤田) 医療的ケア児について会議を設けている。訪問看護師が主に関わるとが多いか。 訪問看護が関わる事例をあげる。関わる中での問題を抽出していく。 (五日市) 24 時間体制の有無で対応が異なる。連絡協議会から協力が仰げるか。 訪問看護連絡協議会に投げかけは可能か。 →5 月中に確認頂く 確認事項：医療的関りがあるか (藤田) 千葉リハに医療的ケア児について、福祉に戻すさいの問題点は？ 千葉県の流れについてうかがうことができるか確認。</p>
5)その他	<p>(皆さまへのお願い：江尻さんより) 今年度も地区勉強会、摂食栄養サポート勉強会を開催していく。 準備委員会の開催に向けて日程調整のメールをさせていただくのでご協力をお願いします。</p>
次回日程	7月7日(木) 18時30分～